

# 令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	202	学校名	仙台市立第二中学校	校長名	福田 元明
------	-----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル, テーマ

「体験から学び, 発信しよう！」



## 2 取組の紹介

○全校での取組

### 定禅寺通り落ち葉拾い

11月15日(金)に全校生徒で定禅寺通りの落ち葉拾いを行いました。毎年、秋ごろの落ち葉が多くなる時期に、全校生徒、教職員、保護者が定禅寺通りの落ち葉拾いを行っています。



○学年ごとの取組

### 1学年 校外学習

5月に「体験して理解するSDGs！」というスローガンで福島県に校外学習に行きました。コミュタン福島という施設で、チリに捨てられる大量の衣服を例にして、目標12「つくる責任つかう責任」の項目について重点的に学習しました。



### 2学年 野外活動

5月に南三陸町と気仙沼市に野外活動に行きました。田植え体験や漁業体験を通して、目標14「海の豊かさを守ろう」、目標15「陸の豊かさを守ろう」について、体験しながら学ぶことができました。



## 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

落ち葉拾いでは、どの学年もとても意欲的に行っていました。生徒たちはきれいになった通りを見てとても喜んでいました。自分たちの住んでいる地域をより良い場所にしていこうという気持ちが感じられました。

9月の学習発表会で、校外学習と野外活動で学んだことを全校生徒や保護者に発表しました。学習発表会での代表者の発表では、「海の恵みや自然は大切なものと改めて実感できました。そんな海を守るために、プラスチックの使用を減らしたり、生活排水に気を使ったりするなど、私たちにできることを実行していきましょう。」という感想を発表していました。実際に体験することで、多くことを感じることができ、その思いを他の人たちにも広げようとしていました。

また、1学年ではSDGsの啓発ポスターを作成し、自分やみんなに大切にしてほしい思いをポスターにして発信しました。ポスターに描いた内容は、校外学習を通してそれぞれが学んだことや感じたことをもとに作成しており、体験を通して、SDGsについて学ぶことや感じる事ができたようです。

